

平成29年(2017年)9月30日(土曜日)



事業による地下水への影響を解説したセミナー
＝三島市民文化会館

11月にも事業者公募

三島駅南口
東街区再開発
市長考え示す

三島市は28日夜、三島駅南口周辺開発に伴う地下水、湧水への影響を解説する市民セミナーを市民文化会館で開いた。この中で豊岡

武士市長は、南口東街区の再開発について11月にも事業者を公募する考えを示した。

併せて、公募する上で基本方針を近く公

因として水が枯渇するような影響は少ないとされた。一方で、地下水汚濁の可能性は完全には否定できず、影響を低減する工法を検討する必要があると付け加えた。

西街区でシティーホテルを建設する東急電鉄(東京)も登壇し、予定敷地内の2カ所に観測孔を設置して水位や水質を計測する湧水保全策を提示した。

「三島の宝である湧水は何より大切。保全できる事業者を選ぶ」と事業推進に理解を求めた。セミナーでは過去に実施した駅周辺の環境影響調査について調査事業者が説明した。開発対象の東西街区は地表から10メートルほどに地下水が流れ、工事を原